

「学テ」の結果が返  
ってくるけど...

教育と文化のつどい

▶ 昨年、会場を感動の渦に巻き込んだ「大人よ志を忘れるな」のメッセージ  
今年も高校生による創作劇上演！「教室」～命の樹～

# ほんまの学力って何？～信じていいの？学力テスト～

## 全国いっせい学力テストの問題点と犬山市の教育

2004年、中山成彬文科相（当時）は「人材こそが資源であるため、日本の学力を世界のトップに押し上げるような教育改革をしたい。子供の頃から競い合い、お互いに切磋琢磨する、といった意識を涵養する」と述べ、競争意識涵養のために全国学力テストの導入が必要だと主張。これに対し、犬山市の瀬見井久教育長は「市場原理は時代とともに移り変わる流行にすぎません。競争と評価では教育はよくなると思います。」と言います。犬山の教育は「自分のまちの子どもたちは自分たちの手で育てる」ことを基本に「習熟度別でない少人数授業」や「学力テスト不参加」などを進めています。



講演 中嶋哲彦氏（犬山市教育委員・名古屋大学大学院教授）

1955年名古屋市生まれ。名古屋大学大学院教授。専攻は教育行政学および教育法学。博士（教育学）。2001年より犬山市教育委員。現在は「地方分権的教育行政・自律的学校運営とその民主主義的規制に関する理論的・実践的研究」に取り組んでいる。

主要著作

『生徒個人情報への権利に関する研究』（風間書房、2000年）

「構造改革特区と地方教育行政：市町村費負担教職員制度に着目して」季刊教育法 第135号（エイデル出版、2002年）

「教師の教育の自由と教科書採択問題」日本教育法学会年報第32号（有斐閣、2003年）

11月16日(金) 18:30開場・19:00開演

会場=宇治市生涯学習センター第1ホール

どなたでも参加できます。参加協力金 300円（組合員は無料）

主催:子どもと教育を守る宇治城陽久御山市民連絡会

0774-44-6191 (宇治城陽久御山教育会館内)

